

令和4年度第1回理学療法講習部部会議事録

参加者：藤・成田・森・山内・石橋・落合・菅野 欠席者：山本 書記：山本

日時：2022年4月25日（月）19：00～ 場所：zoom meeting（オンライン会議）

議題

1) 会計業務変更について【報告】

変更前：講習部で予算を組み部会ごとに運用→変更後：本部で一元化（各部への予算配分なし）

今後の手続きは以下の通りとなる

- ・会議等報酬：Google Formにて会議後に全員で入力（入力不備は個人責任となるので注意）
- ・物品購入：各個人にて本部に申請する
- ・講師への謝礼：各事業での支払い時に再度詳細説明予定
- ・各個人への謝礼等振り込み：会計エクセルファイルに口座を入力、会計本部に送信

2) がんリハ研修について【報告】

現在のところ、がんリハについての話し合いが進んでいない。

理由：県士会承認のない研修会企画がマイページに登録されていることへの対応のため

講習部との関わりとしては、年間3本開催予定の研修の事前会議（運営に関する会議）、当日運営に参加していく。

3) データの保管場所について【審議】

会議録、予算案等のデータ管理については、現在、Slackでチャンネル作成し保管中だが、県士会でOffice365を契約済みのため講習部も利用可能。今後、OneDriveを利用することとなった。

4) 7月開催の理学療法士講習会について【協議】

講習会について協会に連絡済みだが、協会ホームページへの掲載に関して等連絡なしの状況。

早急に広告作成、HPTAメールで配信など、講習部独自で事業を進める必要があるのではないか検討が必要。

<意見交換>

- ・HPTAメールの利用については、開封率が低いという問題あり。協会、県士会が連動しないことも今後の検討事項と思われる。
- ・タイムスケジュールを考えると講師依頼を行っていくべきではないか
- ・twitterで研修会情報を収集している。また、twitterの方が情報が回りやすい。講習部でのアカウントも可能
→今後のtwitterの利用については、以下が今後の検討課題として挙げられた。

管理者の負担、発信内容（興味深くすべき）、ボランティアの募集を通じての講習会広報への利用、講習部独自のアカウント作成か確認

5) 2022 年度の理学療法講習部独自企画の講習会（3 本）について【協議】

今年度の理学療法講習部独自企画の講習会について藤先生より説明があり、検討された。

【現状】

- ・昨年度末の部会にて、①嚥下・栄養、②脳卒中の 2 つまで大まかにテーマを検討した。
→今年度は、上記 2 つのテーマで進めていくこととなった。

①嚥下・栄養について

【問題点】

- ・研修部が 9/17 に「フレイルに対するリハ栄養」をテーマに所属の異なる PT3 名（急性期～生活期）でシンポジウムのような形式で行う予定である。

【解決策の検討】

- ・同じリハ栄養でいくのであれば、テーマ(内容)は異なるものを検討する必要がある。
- ・構成として PT【固定】+（DrorOTor 栄養士）の組み合わせであれば同法人の方が内容の一貫性や統一感の観点からも望ましい。

<意見交換>

- ・嚥下障害に対する電気刺激療法に興味あるため、メイン「電気刺激療法」とし、嚥下に対する電気刺激療法、他複数トピックスにするのはどうか？
- ・テーマに沿って、個別の取り組みを紹介するのがよいのではないか
- ・回復期病院では、VF 検査に PT が入り、座位姿勢の調整に関わる。電気刺激は ST、栄養は管理栄養士が積極的にかかわっているので、PT の関わりはあまりない
- ・急性期 PT では、VF 検査の姿勢、気管切開の人の姿勢保持に PT が関わることもある

②脳卒中について

【現状】

- ・2/4 の部会検討内容から進展はなし。

<意見交換>

- ・ロボットリハ+脳卒中リハの組み合わせがよいのではないか
- ・参加者のターゲットをどこに置くかを決定する必要がある。活動量計
- ・ロボットという施設によっては予算的に難しいこともあるので、ウェアラブル端末の利用に関するものも含めて考えてはどうか、

<2022 年度講習部が関わる予定の研修会・講習会>

- ・がんリハ（3 本）

・講習部講習会（①嚙下：8月or9月、②脳卒中：11月or12月、③未定：2月or3月）

※3回目の講習部講習会は、今後、内容検討が必要。予算は3回分計上。

・腰痛予防・理学療法最前線（7/24）

6) 新人対象講習会について【協議】

【現状】

・「講習会開催の条件を整えること、委託先を決める際にも何らかのルールを作ること」を提示されている。

【問題点】

・これまで研修部の委託業務で10万円の委託料のみ振り込み、あとは完全委託の状況であった。

【解決策の検討】

・新人対象講習会 検討案を共有する。

・その上で上記の開催条件、委託先検討のルール等を設定する。

参加対象：資格取得後1～3年

依頼施設：2022年度は、公募はスケジュール的に難しいため、講習部から依頼。

講師の条件：登録理学療法士取得者（最低限）、認定・専門理学療法士取得者

内容：テーマ設定は自由。

提出書類：事業計画書、収支計画・報告書

広報：自由

余剰金：士会に返金

受講費：無料で企画

→依頼施設について、意見を集約することとなった。締め切りは4/29（金）

意見集約後、認定・専門保有者について確認する。

テーマは、新人対象のため、中枢、運動器をテーマとする。

以上